

船舶事故等調査報告書

平成21年10月1日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第156号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年4月29日（水・祝日） 08時00分ごろ	
発生場所	鳥取県岩美町田後灯台から真方位325° 4,000m付近	
事故等調査の経過	平成21年6月1日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A モーターボート <sup>よし</sup> 義丸、6.8m 260-25535鳥取、個人所有 B 漁船 <sup>かいせい</sup> 海静丸、3トン TT3-8703（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長、二級小型船舶操縦士 B 船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	A 船長が腰部打撲 B なし	
損傷	A 左舷及び右舷中央部破口 B 船首部擦過傷	
事故等の経過	A船は発生場所付近で錨泊して釣り中、B船は鳥取県網代港沖の漁場から真方位約142°の針路、速力約8ノットで帰航中、平成21年4月29日08時00分ごろ、B船の船首部とA船の左舷中央部とがほぼ直角に衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東、風力 1	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし B船が帰航中、左舷前方で作業中の漁船に気をとられて、前路のA船に気付かなかったものと考えられる。 A船が錨泊して釣り中、B船の接近に気付かなかったものと考えられる。
原因	本事故は、鳥取県田後港沖において、A船が錨泊中、B船が帰航中、A船が接近するB船に気付かず、また、B船が前路のA船に気付かなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。	